

「情報公開文書」

課題名：蘇生を希望しないが心停止時に救急要請された傷病者の特性および地域医療体制との関連:前向き観察研究

1. 研究の対象

2026 年 5 月～2026 年 10 月に、茨城県内で救急要請され、救急隊が到着した際に心停止であった方。

(つくば市消防本部、常総地方広域市町村圏事務組合消防本部、取手市消防本部の管轄内(つくば市、常総市(水海道地区)、守谷市、つくばみらい市、取手市)については、すでに同一の内容の研究が別途実施中のため除きます。)

2. 研究期間

研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

うち、2026 年 5 月～2026 年 10 月の 6 か月間に心停止で救急要請された方が研究対象となります。

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：予定なし

提供開始(予定)日：2026 年 5 月 1 日

4. 研究目的

心臓が止まったときに蘇生処置を望まないというご本人の意思表示があったとしても、様々な理由でいざというときに救急要請され、望まれない蘇生処置を受けることがあります。いざというときに、ご本人の意思に反した治療が行われてしまう状況が全国的にも問題になっています。

こうした問題を解決する糸口とするため、本研究は救急要請された心停止の方のなかには、蘇生を望まない人がどのくらい居て、どういった方が多いのか調査することを目的としています。

5. 研究方法

研究対象となる方について、救急隊の活動のなかでお伺いして記録された情報を、本研究で使用します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象となる方の年齢や性別、通報時の状況や通院中の医療機関、急変時の対応について話し合ったことがあるかどうか等の情報、また救急隊が活動した際の活動内容についての情報を、研究に使用します。これらの情報が、研究協力機関である茨城県メディカルコントロール協議会を通して、筑波大学附属病院へ提供されます。氏名や生年月日などの個人を特定し得る情報は含まれません。

7. 外部への試料・情報の提供

救急活動で記録された情報が、追跡可能な方法で送付することにより研究担当者へ提供されます。

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

なし

9. 研究組織

研究機関 筑波大学附属病院

研究代表者：救急・集中治療科 教授 井上貴昭

研究分担者：救急・集中治療科 准教授 丸島 愛樹

救急・集中治療科 病院講師 坂本 彩香

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係にある企業等はありません。

11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、情報の利用停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：筑波大学附属病院 救急・集中治療科 井上貴昭

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：029-853-3210（平日 8:30～17:15）